

成果指標				
成果指標	当該年度の対象農用地面積／昨年度の対象農用地面積(目標数値)×100			
指標設定の考え方	対象農用地面積の増加を測定することで、中山間地域が担う多面的機能を増進する活動を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	99.9%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	中山間農地の保全や多面的機能の確保に大きな効果が認められる事業であり、今年度は3期対策の最終年度として、繰越金や各資料精査に努め、効果が認められた。なお、4期対策に向け、引続き積極的に推進すべき施策であり、周知徹底と理解促進により協定農用地の拡大に努める必要がある。また、事業内容の変更と法改正に伴う他の日本型直接支払事業との密な連携が必要となり、踏まえた推進に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業は中山間地を多くもつ本市にとっては重要な施策に位置づけられる。今年度で第3期対策が終了し、第4期対策(H27年度～31年度)が開始されるに伴い、今後一層の協定の継続と新規加入を積極的に呼びかけていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・この事業は言葉が難しい。もう少し具体的な説明がほしい。・ブランド推進課という課のイメージで、中山間地の維持管理というのはいかがなものかと思った。・農地保全は重要であると思う。今の状況が消極的でも、やらないよりはしないといけない。・地域の自発性だけに任せるのではなく、何か誘導するような方向で何かした方が良いような気がする。・100いくつの地域でやっているのなら、その内容を取りまとめ公表するとか、あることをすると一定の効果が出たといった情報が流れる仕組みを作り、地域間データをうまくやり取りできれば、他地域の刺激になると思う。・5年間の効果はあっても、将来的には意味がないように思える。もう少し努力してもらわないといけない。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	